

[成果情報名] ミナミキイロアザミウマを効率良く誘殺する青緑色粘着トラップの開発

[要 約] メロン等の重要害虫ミナミキイロアザミウマ成虫を市販の青色または黄色トラップと比較して効率良く誘殺する青緑色粘着トラップを開発した。

[キーワード] ミナミキイロアザミウマ、青緑色粘着トラップ、メロン、IPM

[担当] 静岡農林技術研・植物保護・環境保全科

[連絡先] 0538-36-1556 agrihogo@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 野菜

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

静岡県のメロン栽培では薬剤抵抗性が発達したミナミキイロアザミウマが問題となっている。農薬のみに頼らないミナミキイロアザミウマの防除対策として、天敵カブリダニやメロン株への赤色光の照射等の技術も利用され始めているが、アザミウマ成虫の飛び込みが多い環境などでは十分な効果が認められないことがある。そこで、これらと矛盾なく組み合わせることが可能な物理的防除法として、ミナミキイロアザミウマに対する誘殺性能が高い新たなトラップを開発する。

[成果の内容・特徴]

- 1 波長 500nm 付近に分光反射率のピークを有する青緑色の紙製粘着トラップを開発した(図1)。
- 2 ガラス温室のメロン栽培環境(図2、図3)の他、ビニルハウスのキュウリ栽培環境においてもミナミキイロアザミウマ成虫を効率良く誘引する。
- 3 青緑色トラップはミナミキイロアザミウマの抑制効果が確認されている赤色光照射下に吊るした場合でも、市販の青色および黄色トラップより効率良く誘引出来る。

[成果の活用面・留意点]

- 1 トラップの設置は、既存品と同様に植物の生長点付近や栽培ベッド等に設置する。
- 2 圃場内のミナミキイロアザミウマの密度抑制を目的とする場合は、10a 当たり 100～400 枚を生育初期から設置する。
- 3 ネギアザミウマやミカンキイロアザミウマ等ミナミキイロアザミウマ以外のアザミウマ類(図3)やコナジラミ類、ハモグリバエ類に対する誘引性は低いので、これら害虫も誘殺したい場合には黄色や青色のトラップを合わせて設置する。
- 4 本トラップは小林製袋産業株式会社との共同研究により開発したものであり、同社より製造販売されている。

[具体的データ]



図1 開発した紙製青緑色粘着トラップ

25 cm×10 cm (粘着面 19.5 cm×9 cm)

(左) 温室メロンの栽培ベッドに割りばしに挟んで設置したところ

(右) 株上の誘引線に吊るして設置したところ

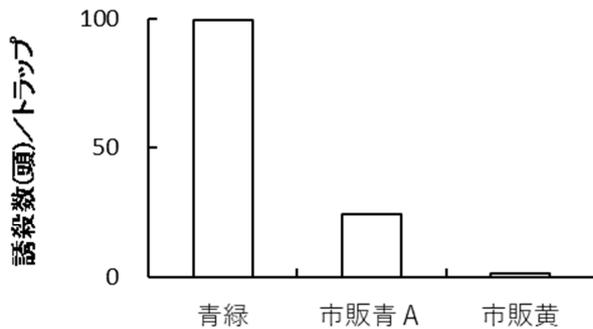


図2 青緑色トラップと市販の青色、黄色トラップとのミナミキイロアザミウマ誘引数の比較

生産者Aメロン栽培ガラス温室 (2020年11~12月調査 27日間の合計数)

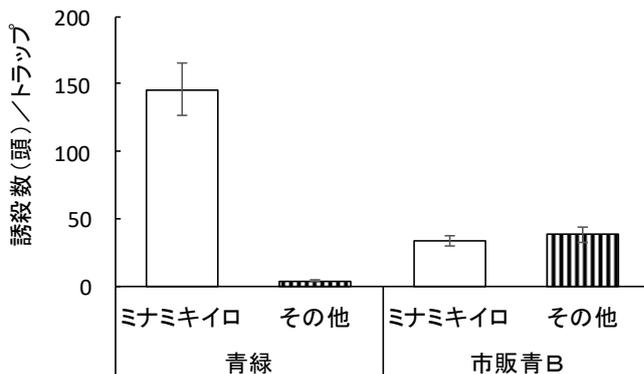


図3 青緑色トラップと市販青色トラップに誘殺されたアザミウマ類の数

垂線は標準誤差. 生産者Bメロン栽培ガラス温室 (2020年5月調査 7日間の合計数)

[その他]

研究課題名: 大型施設に対応したメロンのウイルス病と媒介虫の総合防除法の開発

予算区分: 県単

研究期間: 2019~2021年度

研究担当者: 土井 誠・吉崎涼花・斉藤千温・片山晴喜

発表論文等: